

TEAMSTUDIO® ADVISER

次のステップに向けたロードマップをあなたの手に

- Dominoのカatalog情報やデータベース設計などを体系的にスキャン
- サーバー間の複製やエージェントによるアクセスを排除して真のユーザー利用状況のみ検出
- アプリケーションの複雑さを分析
- 複雑で緻密なデータを簡潔で直感的な Web ユーザーインターフェースに提示
- 現存する Domino サーバーと Notes アプリケーションを考慮した意思決定プロセスを簡潔に

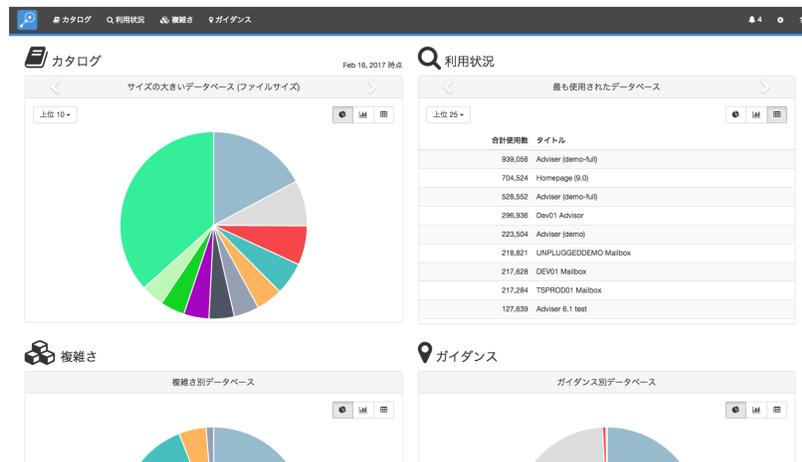
稼働中の NOTES アプリケーション環境を把握

IBM Notes アプリケーションの将来に向けた対処を決める前に、それぞれアプリケーションの特性について多くの情報を収集する必要があります。データベースの数、その複雑さ、利用ユーザー、データベースの所有者、ビジネス上の価値などを把握することは、複雑で莫大な時間を要する作業です。

Adviser は、Domino サーバー環境とデータベース設計をスキャンし、データをインテリジェントに集約し、一連のルールと重み付け基準を適用してそれぞれのアプリケーションをどうすべきかを提案します。この提案は、アプリケーション毎に示され、独自のロードマップを作成できます。

ADVISER は包括的なデータ解析に基づく IBM Notes/Domino アプリケーションのパスを提案します。

Adviserは次のモジュールから構成されています: Catalog (カタログ)、Usage (利用状況)、Complexity (複雑さ)、そして Guidance (ガイダンス)。



CATALOG (カタログ)

Domino サーバー群のカタログから情報を読み取る機能は、データベースとテンプレートを整理し、データベースのサイズ、最終更新日、アクセス制御など様々な視点から確認できます。

USAGE (利用状況)

Domino サーバーのログから利用状況の情報を読み込む機能で、複製やサーバーのアクティビティを排除したうえで、ユーザーとデータベースの両方の詳細な利用状況統計を確認することを可能にします。

COMPLEXITY (複雑さ)

サーバー上で配置されているデータベースをもれなくスキャンし、設計の複雑さを計るためのスコアを生成します。スコアは、設計のサイズや設計要素の異なるタイプの数、移行が困難となる Domino 特有の機能のカウントなど数多くの要因に基づき生成されます。

GUIDANCE (ガイダンス)

他のモジュールから収集した情報を集約し、それぞれのデータベースを整理し、『将来の道筋』を提案する機能です。原則的にアプリケーションの利用状況、設計の複雑さ、ビジネス上の価値の組み合わせを基に判定されますが、すでに計画や処遇が決定されているデータベースに関しては、この判定を書き換えることも可能です。

この判定によって、書き換え、アーカイブ、リタイア、その他ソリューションへの置換をより確信を持って自信をもって始めることができます。